

04

情報サービス業

ものづくり技術

一般型

試作+設備

株式会社 佐賀電算センター

代表者 宮地 大治
住 所 〒849-0915
佐賀県佐賀市兵庫町藤木1427-7
連絡先 TEL 0952-34-1500 FAX 0952-34-1541
HP:https://www.sdcns.co.jp

資本金 8,000万円
設立年月 昭和50年7月
従業員 263人

スマートデバイスを活用した 次世代酒類卸売業向け販売管理システム開発

本事業では、現行当社が所有する酒類卸売業向け販売管理パッケージ(以下、「酒販パッケージ」という)において、昨今の「Windows XP終息問題」により、最新OS(Windows10)へ対応させる必要があり、開発基盤を刷新し、リニューアル開発を行うことになりました。



代表取締役社長
みやち だいじ
宮地 大治



本事業への取り組みの経緯

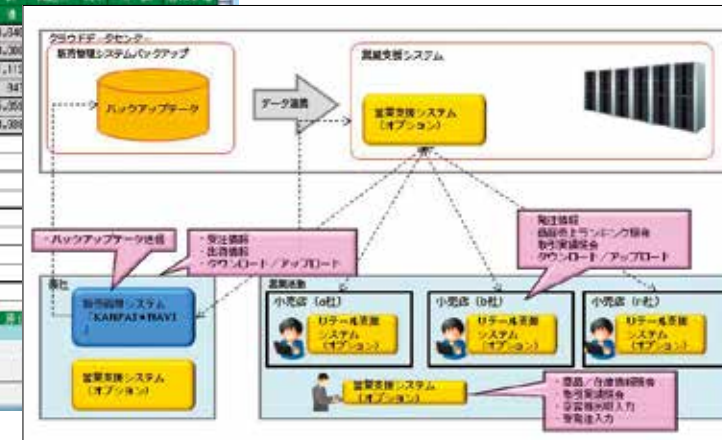
現行の「酒販パッケージ」の機能継承はもとより、酒類卸売業界の共通課題である酒税法改正時の価格改定処理の機能改善を実施することにしました。更に、営業マンがスマートデバイスを活用し、空容器回収管理やユーザー(小売店)向け外販業務を可能とする「営業支援システム」を新規に開発して搭載することにしました。

Q1. 御社の特徴は?

A. 昭和38年(1963年)12月の創業以来、お客様第一主義のもと、お客様に満足いただけるサービスの開発と提供により、多くのお客様と取引を行っております。これからも顧客提供価値No.1企業を目指し、社会の発展に貢献していきたいと思ひます。

Q2. 御社のモットーは?

A. ITの可能性を追求し、豊かな社会の実現に貢献する



実施内容

販売管理システムの開発としては、最新OSに対応した販売管理パッケージソフトを開発し、税制改正に伴う価格改定作業を支援する機能を改良しました。開発手法については、「三層構造」【システム全体を「プレゼンテーション層」(ユーザーインターフェース)、「アプリケーション層」(ビジネスロジック)、「データ層」(データベース)の3階層に分け、クライアント側にはユーザーインターフェース部分のみを残し、あとはサーバ側の実装する開発手法】のアーキテクチャを採用し、開発効率や保守性を高めました。BCP(事業継続計画)対策として、販売管理のデータをクラウドセンターへバックアップする機能を新たに搭載しました。「営業支援システム」の開発では、タブレット等のスマートデバイスの利用を想定し、現場での受発注、容器回収の入力業務および取引履歴を照会できる機能を搭載し、エンドユーザー(小売店)向け機能として、発注入力や卸との取引実績、商品売上ランキング等を照会できる機能を組み込むことができました。

取組成果・波及効果

WindowsXP終息問題に対する開発元としての企業リスクを回避することができました。また、「酒販パッケージ」のリニューアルおよび営業支援システムの開発を予定通り完遂し、クラウドサービスで提供可能な「次世代酒類卸売業向け販売管理システム」として整備できました。これにより、顧客発注が深夜となるケースが多い酒類卸売業者の早朝からの受発注業務の負担を軽減することができるほか、スマートデバイスを活用したことで機動性を高めることも実現できました。また、今後予定されている軽減減税への対応も可能となることから、酒類卸売業者の負担を大幅に軽減できるものと期待しています。



今後の展望・活動予定

販路開拓については、基幹業務領域での大手パッケージベンダーとの協業を推進し、相互に弱点の補完と案件拡大を目指します。直販においては、当社ホームページの商品紹介ページをリニューアルし、全方位での情報発信を行っていきます。本事業の成果について、「より低コスト」で「より生産性の高い業務システム」を開発出来たことで、今後、酒類卸売業における中小企業の情報基盤の構築を支援したいと思っています。

ホームページを
CHECK!

